

★1月の休館日：4日(木)、9日(火)～15日(月)、22日(月)、29日(月)



プラネタリウム番組のご案内

1月の一般投影

2024年の天文現象

2024年は、注目の天文現象が目白押しです。特に注目なのが2つの彗星です。彗星は、太陽の周りをまわる、氷とチリのかたまりのような天体です。太陽に近づくと、氷が溶けだすことなどで長い尾を引く姿を見られることがあります。3月から4月にかけてボン・ブルックス彗星が双眼鏡で見えるほどに、9月から10月にかけて紫金山・アトラス彗星が肉眼でも見えるほどに、明るくなると期待されています。

流星群も注目です。5月6日に極大日となる みずがめ座 η (エータ)流星群や、8月12日に極大日となるペルセウス座流星群は、月明かりの影響を大きく受けることなく好条件です。一方、12月14日に極大日となる ふたご座流星群は、満月前の明るい月が空にあり、条件は良くありません。しかし、14日未明から明け方にかけて、月がプレアデス星団(すばる)の星たちを次々に隠していくプレアデス星団食が occurs。プレアデス星団食を観察しながら、流星をさがすのも良さそうです。

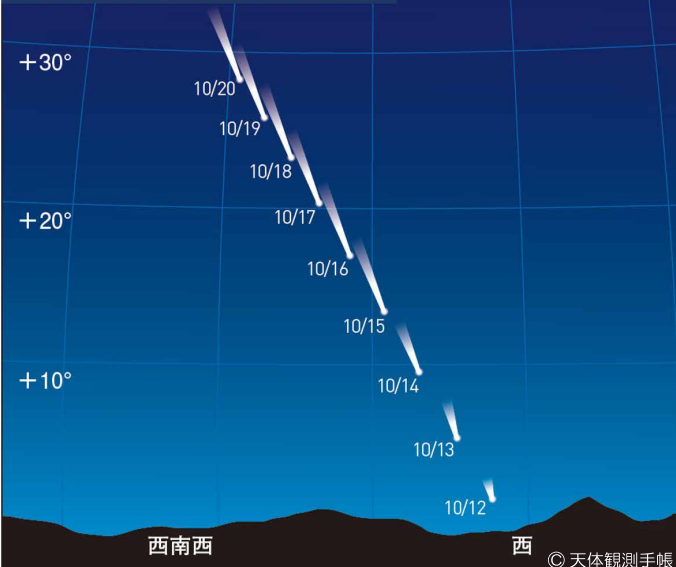
12月 8日 土星食 (明石での見え方)

潜入開始 18:21
潜入終了 18:24

出現開始 18:42
出現終了 18:44

StellaNavigator / アストロアーツ

日没後60分 紫金山-アトラス彗星の予想図



月が他の天体を隠す星食は他にもあります。5月5日の昼間には火星食、6月20日の日没頃にはアンタレス食、7月25日の朝には土星食、8月10日の宵空でスピカ食、12月8日の宵空で土星食、12月25日の未明にはスピカ食が、それぞれ見られます。特に注目のは12月8日の土星食です。望遠鏡で観察すると月面と土星の姿を大迫力で観測できます。また、海外に目を向けると、4月9日は北米などで皆既日食が、10月3日には南太平洋、南米南部などで金環日食が見られます。今月は、2024年の天文現象についてお話しします。

キッズ
プラネタリウム

★幼児や小学校低学年を対象とした子ども向けプラネタリウムです。
土日祝および冬休み(～1/8)の11:10～/14:30～

こども天文教室

★小学4年生以上を対象に、テーマごとの天文の話題を少し詳しく解説するプラネタリウムです。どなたでもご参加いただけます。

★1/27(土)★ 9:50～

テーマ：これからの天文現象

オリオンとふゆのせいざ ★1/5(金)～2/25(日)★

軌道星隊シゴセンジャー(冬場所)

★1/6(土)～1/8(月・祝)★ 11:10～ ※事前申込制

星と音楽のプラネタリウム

※事前申込制

★素敵な生の音楽とともに星空をお楽しみいただく特別投影です。

★1/20(土)★ 13:10～ <出演> 高橋真珠 (ヴァイオリン)

2月の一般投影

太陽の活動とオーロラ

太陽は11年周期で活動が活発になったり静穏になったりしています。太陽活動が活発になるとオーロラがよく見られます。太陽活動とオーロラについてご紹介します。



特別展のご案内

～1/28(日)

2024年全国カレンダー展

企業や公共機関、動物園などが発行するさまざまな新年カレンダーを展示しています。



時と宇宙の博物館

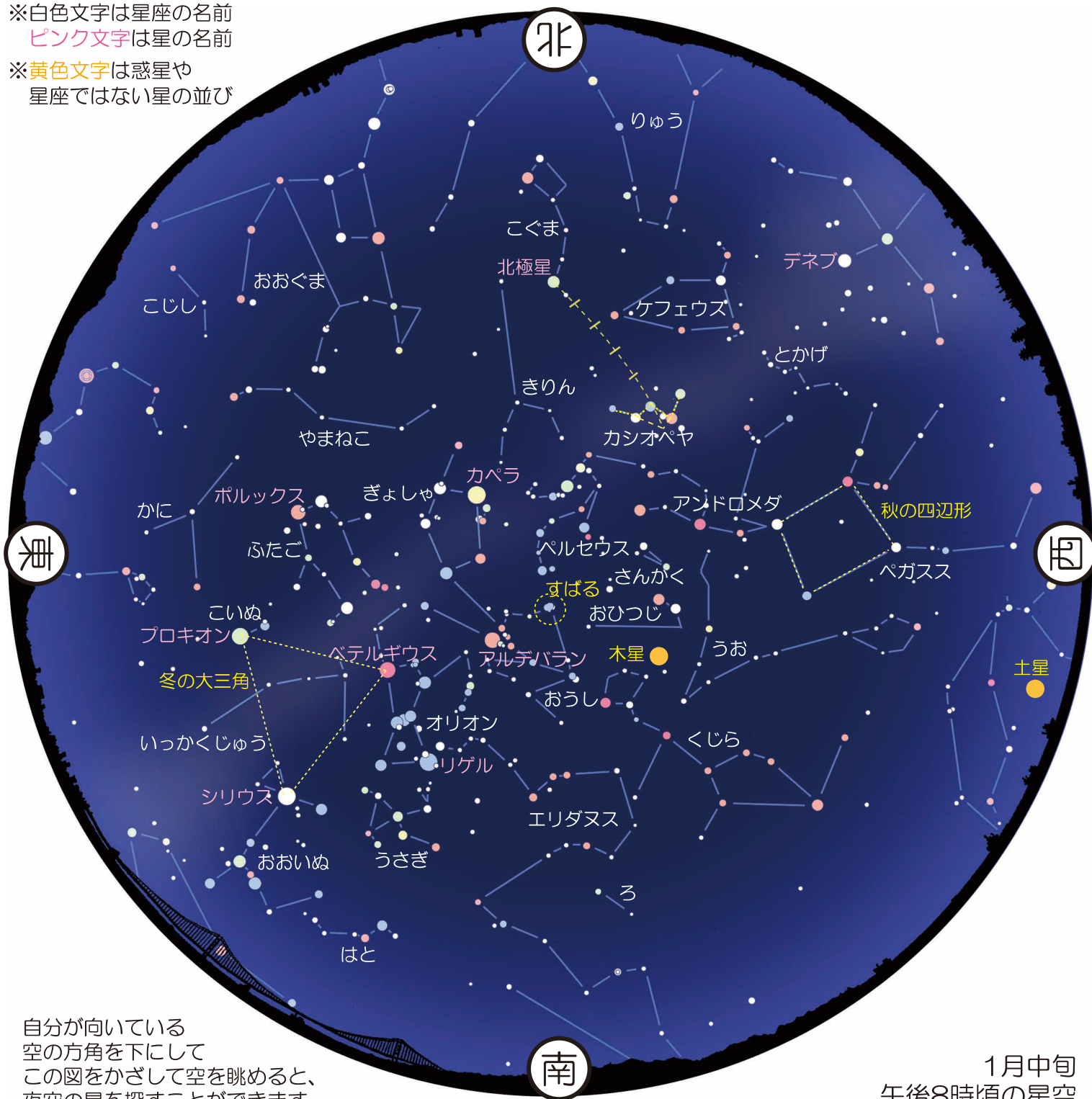
明石市立天文科学館

2024年1月の星空

※白色文字は星座の名前

ピンク文字は星の名前

※黄色文字は惑星や
星座ではない星の並び



自分が向いている
空の方角を下にして
この図をかざして空を眺めると、
夜空の星を探することができます。

1月中旬
午後8時頃の星空

1月の月の暦

4日 下弦
11日 朔(新月)
18日 上弦
26日 望(満月)

1月の日の出・入(明石)

日の出	日の入
1日 7:07	17:00
15日 7:07	17:12
30日 7:00	17:26

1月の天文現象

1日 元日(明石の初日の出は7:07)
4日 しぶんぎ座流星群が極大
6日 小寒
9日 月と金星・水星が並び(明け方)
12日 水星が西方最大離角
14日 月と土星が並び
18日 月と木星が並び
20日 大寒

2月の天文現象

4日 立春
8日 月と金星が並び(明け方)
15日 月と木星が並び
19日 雨水
29日 土星が合